



かわまた 議会だより

Main Contents 6月議会 (P4-8) / 一般質問 (P10-14) / まちれぽ (P15) etc...

堂々と。
青少年の主張

6月28日開催
川俣町青少年の主張大会



もっと知ってほしい議会のこと
誌面でつながる町議会



町議会HPはこちら

第3回議会 臨時会 報告



**議案9件を可決、
議会構成の一部が変更されました**

5月9日、第3回議会臨時会が開催され、議案9件が審議・採決のうえ可決されました。

また、4月30日付で作田善輝議員から一身上の都合により議会運営委員の辞任願、伊達地方衛生処理組合議会議員の辞任願が提出されていたことから、新たに議会運営委員の選任、伊達地方衛生処理組合議会議員の選挙を行いました。

作田議員が衛生処理組合議会の無断欠席を謝罪



5月9日の臨時議会で謝罪する作田義輝議員

去る3月28日の伊達地方衛生処理組合（福島市・伊達市・桑折町・国見町・川俣町の2市3町で構成）の1年間の事業と予算を決める組合議会を作田義輝議員が無断欠席しました。作田議員はこの日、議員提案発議案件の賛同者の一人として予定されていましたが、賛同者2人の署名を1人に修正して提出するという事態に至りました。また、無断欠席については、翌日、議長に報告するという顛末でした。

作田議員は、3月議会中にも川中生徒に対する声かけ事案で不審者扱いの責任を問われ、向こう1年間の議会対外活動の自粛を課せられたばかりです。その1週間後の事案だけに議会からも厳しい意見が出されました。

事態を重く見た正副議長は、作田議員の役職辞任と当面の間一般質問の自粛を求める勧告をいたしました。また、議会の対外活動の自粛も視察はもとより町の行事や式典なども自粛するよう本人に通告いたしました。

これを受けて4月30日付けで議会運営委員（委員長）、伊達地方衛生処理組合議会議員の2つの辞任願が出され、5月9日の臨時議会において承認されました。また、本会議の冒頭、本人から謝罪の発言がありました。

川俣町議会では、現在、議会改革の取組を進めておりますが、今回、正当な理由もなく組合議会を欠席するという懲罰の対象にもなり得る重大な事案が発生してしまいました。議会には、より一層の自覚と責任が求められているものと認識しています。

今後、議会が住民の代表機関として相応しい活動ができるよう町民の皆様方の叱咤激励をいただきますようお願いを申し上げ、深くおわび申し上げます。

第3回議会臨時会 議案の審議結果



臨時会において町から提案のあった議案は次の9件でした。それぞれの議案について審議が行われ、結果は記載のとおりです。

議 案	件 名	審 議 結 果
第35号	山木屋地区防災まちづくり拠点施設敷地造成工事請負契約の締結について	可決（全会一致）
第36号	山木屋地区防災まちづくり拠点施設新築工事請負契約の締結について	可決（全会一致）
第37号	町道路線の変更について	可決（全会一致）
第38号	専決処分の報告及びその承認について （専決第3号 令和6年度川俣町一般会計補正予算（第7号））	可決（全会一致）
第39号	専決処分の報告及びその承認について （専決第4号 令和6年度川俣町国民健康保険特別会計補正予算（第5号））	可決（全会一致）
第40号	専決処分の報告及びその承認について （専決第5号 令和6年度川俣町介護保険特別会計補正予算（第4号））	可決（全会一致）
第41号	専決処分の報告及びその承認について （専決第6号 令和6年度川俣町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号））	可決（全会一致）
第42号	専決処分の報告及びその承認について （専決第7号 令和6年度川俣町奨学資金特別会計補正予算（第1号））	可決（全会一致）
第43号	専決処分の報告及びその承認について （専決第8号 令和6年度川俣町工業団地造成事業特別会計補正予算（第3号））	可決（全会一致）

議会構成の変更について

第3回議会臨時会において、議会構成が次のとおり変更になりました。※変更箇所網掛け

議 会 運 営 委 員 会	職 名	議 員 氏 名	職 名	議 員 氏 名
	委 員 長	石 河 ル イ （前・作田善輝）	委 員	蓮 沼 洋 志
	副委員長	高 橋 清 美	委 員	菅 野 信 一
伊達地方衛生処理組合 議 会 議 員	議 員 氏 名		議 員 氏 名	
	藤 原 正		高 橋 清 美 （前・作田善輝）	

Close up

＝ クローズアップ

6月議会



6月議会では何が決まったのか？



令和7年第4回議会定例会は、6月6日から12日までの7日間の会期で開催されました。

一般会計の補正予算は約1億6千万円増額が提案され可決し、一般会計の総額は94億5666万8千円となりました。歳出には、新たに旧すみよし保育園北棟の利活用に係る改修経費や町村合併70周年・健康増進イベントに係る予算が計上されたほか、物価高騰等支援策として子育て世帯への影響を軽減する応援給付金等の経費等が盛り込まれました。

低所得者支援及び定額減税補足 給付事業費（不足額給付）

令和6年度実施の当該給付金について、実績額の確定により当初給付額と本来給付すべき額との間で差額が生じた方へ不足額を給付するもの。



4,460万円

【合併70周年】健康増進事業

合併70周年記念事業の一環で、若年層を含む多くの町民の方に対して健康意識の醸成を図るイベントを拡充するための費用。



484万円

補正予算の主な事業は？

旧すみよし保育園の北棟改修、子育て世帯応援給付 etc…

子育て世帯物価高騰対応 重点支援給付金

物価高騰対策として、子育て世帯に対して子ども一人あたり1万円を給付するための費用（給付は8月中を予定）。



1,122万円

子育て支援施設整備事業

旧すみよし保育園の北棟を、ファミサポ事業に供する預かり室やコミュニティ活動用の会議室として改修整備するための費用。



5,789万円

学 校 給 食 費

食材価格の高騰に対応するため、1食あたりの給食費を値上げするための負担金（小学校330円→375円、中学校380円→430円）。



561万円

除 染 対 策 事 業

仮置場の返還工事において、当初予定していた工事内容等に変更が生じたため工事費等の費用が増額されるもの。



8,047万円

6 月 定 例 会

議 案 の 審 議 結 果



今回の定例会で町から提案のあった議案は次の10件でした。それぞれの議案について審議が行われ、結果は記載の通りです。

議 案	件 名	審 議 結 果
第44号	動産の取得について	可決（全会一致）
第45号	東京電力福島第一原子力発電所原子力災害に伴う令和7年度川俣町国民健康保険税等の減免の特例に関する条例	可決（全会一致）
第46号	川俣町税条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第47号	川俣町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第48号	川俣町高齢者在宅福祉サービス手数料条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第49号	川俣町農業・農村振興条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第50号	令和7年度川俣町一般会計補正予算（第1号）	可決（全会一致）
第51号	令和7年度川俣町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決（全会一致）
第52号	令和7年度川俣町介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決（全会一致）
第53号	令和7年度川俣町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決（全会一致）

全員協議会レポート

令和7年第8回（5月29日）

旧すみよし保育園北棟の改修計画示される 子育て支援に供する施設としての改修見込む

旧すみよし保育園北棟の利活用（改修）について、当局から説明を受けました。

ファミリー・サポート・センター事業に係る子どもの預かり場所の確保等に苦慮している現状を受け、同事業に供するための預かり室のほか、住民相互によるコミュニティ活動用の会議室を整備する計画です。

令和8年3月に改修工事が完了し、令和8年4月より指定管理者による施設の利用が開始される予定です。

議員からの意見

- 他の施設もあったと思うが、旧すみよし保育園とした理由は。
→旧すみよし保育園は南側をわいわいクラブで利用しており、残った部分についても子育て支援に供する施設として検討してきたためです。
- コミュニティ活動用の会議室は地域住民も利用できるか。
→サロン等での利用も想定されますが、具体的には指定管理が始まってからお知らせしたいと思います。



議員はどこに注目したか。

本会議での主な質疑応答

補正予算

●議案第50号

令和7年度川俣町一般会計補正予算（第1号）

Q ①財政調整基金の残高は。

②町の会計年度任用職員は現在何名か。

③除染対策事業費の対象箇所と工事終了時期は。

④耕作放棄地解消対策事業費66万6千円が計上されているが面積は。

⑤貸事業所整備事業費の備品購入費が減額された理由は。

A ①令和6年度末で約14億1158万円です。

②4月現在で42名です。

③福田第2仮置場、福沢第1仮置場、大綱木仮置場の3か所で、令和7年度中に

終了の予定です。

（原子力災害対策課長）

④2000アールです。

（農林振興課長）

⑤一部の備品が付帯工事（再生加速化交付金対象）として扱われることとなったためです。（政策推進課長）

Q 除染対策事業費の工事請負費約6200万円増額の理由は。

A 地元との調整、地権者の要望により内容を変更したためです。

（原子力災害対策課長）

Q 入札時に地元の意見を十分に聞いていないということか。

A 十分に協議をし工事を発注していますが、工事発注後に要望が出る場合もあるため、どうしても変更は生じるものと考えています。

（原子力災害対策課長）

Q 旧すみよし保育園北棟の改修工事費約5800万円の内容等は。

また、施設が古いが屋根等の調査はしているのか。

（藤野圭史議員）

A 乳児用トイレ、エアコン、壁、床等、改修が必要な箇所を同種の工事を参考に概算費用として計上しています。また、屋根の改修分は当初予算に計上しています。

（子育て支援課長）

Q 指定管理を予定ということだが、管理者との今後の関りはどのように考えているか。

A 施設を有効活用していただける事業者を指定管理者制度により募集していく予定です。現段階で特定の団体を想定しているものではありません。

（子育て支援課長）



▼ 請 願 の 審 査 結 果



2 件の請願を委員会に付託し、
審査を行いました。

受理 番号	付託委員会	件 名	請願者住所及び氏名	紹介議員	審査 結果
3	総務産業 常任委員会	「インボイス制度廃止を求め る意見書」の提出について	福島県福島市五月町2-5 消費税廃止各界連絡会 事務局 服部 雅	石河 ルイ	不採択
4	総務産業 常任委員会	「消費税5%への減税を求め る意見書」の提出について	福島県福島市五月町2-5 消費税廃止各界連絡会 事務局 服部 雅	石河 ルイ	不採択

▼ 陳 情 の 審 査 結 果



2 件の陳情を常任委員会に付託し、
審査を行いました。

受理 番号	付託委員会	件 名	陳情者住所及び氏名	審査 結果
2	総務産業 常任委員会	地方財政の充実・強化を求める意 見書提出の陳情について	福島県伊達市保原町字舟橋180 日本労働組合総連合会 福島県連合会伊達地区連合会 議長 高橋 誠一	採 択 〔意見書 提 出〕
3	厚生文教 常任委員会	「国の『被災児童生徒就学支援等 事業』の継続と、被災児童生徒の 十分な就学支援を求める意見書」 の提出を求める陳情書	福島市上浜町10-38 福島県教職員組合 中央執行委員長 瀬戸 禎子	採 択 〔意見書 提 出〕

▼ 議 員 提 案



次のとおり意見書を2件提出しました。

意 見 書 名	宛 先		
地方財政の充実・強化を求める意見書	内閣総理大臣 総務大臣 国土交通大臣	衆議院議長 財務大臣 デジタル大臣	参議院議長 厚生労働大臣 内閣府特命担当大臣
「被災児童生徒就学支援等事業」の継続 と、被災児童生徒の十分な就学支援を求 める意見書	内閣総理大臣 文部科学大臣	総務大臣 復興大臣	財務大臣

各委員会の活動報告

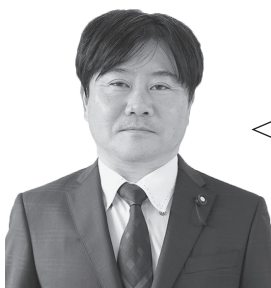


－ 請願、陳情を慎重審議 －

総務産業常任委員会では、請願や陳情の審査を会議室にて審議しました。

今回は「インボイス制度の廃止を求める意見書」と「消費税を5%へ減税する意見書」に関する請願や陳情を審査しました。請願は議会に対して要望を提出する正式な手続きであり、陳情はより自由な形式で意見を伝えるものです。委員会では町民の声を真摯に受け止め、制度や地域への影響を慎重に議論しました。

今後も町民の意見を尊重し、公正な審査を心がけてまいります。



藤野圭史委員

町民の声に触れ、制度の理解を深める中で、真剣に議論できることは意義深く、自分自身も日々学び続ける重要性を改めて実感しました。

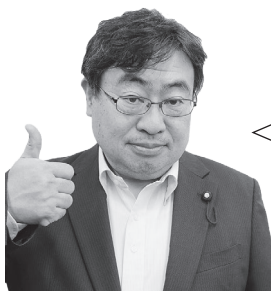
総務産業常任委員会



－ 川俣高校学生寮、リハビリ南東北川俣を視察 －

厚生文教常任委員会は、川俣高校支援として今年度より壁沢団地内に整備された学生寮を訪問しました。報告では3名の入寮者があったこと、さらに食事や住環境、通学状況などについて調査を行いました。

リハビリ南東北川俣においては、担当職員の方から施設の運営や利用状況などについて説明をいただきました。その後、施設内を回り、入所者、通所者の状況、スタッフの役割等について調査しました。



藤原正委員

学生寮は居住と食事も充実していて徒歩通学圏でもあり、親御さんにも安心していただけたと思います。リハビリ南東北川俣では、イベントを通じて利用者同士が交流を楽しんでいる様子を見て心温まるものを感じました。

厚生文教常任委員会



8名の議員がまちの課題を問う!

一般質問

Q & A

一般質問とは?

一般質問とは、議員が町政運営全般にわたり執行機関（町長等）に疑問点を質問し、答弁を求めるものです。一般質問により所信を問い、執行機関の

政治姿勢を明らかにし、それに対する政治責任を明確にする等により、結果として現行の政策を変更、是正させるなどの目的と効果があります。

詳細はぜひ動画をご覧ください ▶▶▶



かの きよ かず

菅野 清一 議員

その他の質問

- 公共交通対策
- 災害公営住宅の家賃

動画はこちら▶



小学校統合と認定こども園の成果と課題は

Q 学校統廃合により教育効果はどの程度上がったか

A 教職員からは、子ども同士よい刺激を受け、学習に前向きに取り組む子どもが多くなっている等の報告を受けています。子どもらしく元気で落ち着いた学校生活を送っていると考え、再編の成果は上がってきていると考えます。また、再編2年目から川俣小学校を

コミュニティスクールに指定し、地域と共にある学校として、町を知り、町に積極的に関わっていく子どもたちを育てる取組や川俣の教育「シルクプラン」に基づき、認定こども園や中学校との相互連携など、つながる教育の推進を図っています。

Q 保育園と幼稚園を統合して成果はあったのか

A 認定こども園は、教育と保育を一体的に行う施設です。幼稚園と保育園の両方の良さを併せ持ち、子どもたちの成長を一体的にサポートし、発達をよりスムーズに促すことができること、保護者の就労状況に応じ柔軟な保育が受けられること、子どもたちの発達に

合わせた質の高い環境を提供するとともに、経験豊富な保育教諭を配置し子どもの発達に適した環境を提供しています。また、園内の子育て支援センターでは、保護者のために、親子の集いの場の提供など子育てのサポートをしています。



かん の しん いち
菅野 信一 議員

川俣町地域防災計画について

Q 新たな土砂災害の発生のおそれのある箇所等への対応は

A 土砂災害警戒区域は、急傾斜地の崩壊や土石流、地滑りといった土砂災害の発生のおそれのある区域について県が指定するものです。現在の防災計画においては322か所となっています。また、新たな土砂災害の発生のおそれのある箇所については、近年、土砂災害の頻度が高くなっていることから、県で高精度の地形情報等を用いて、新たな土砂災害の発生のおそれのある箇所の抽出を実施したところ
です。その結果、県ホームページ

に、本町において新たな土砂災害の発生のおそれのある箇所として1,793か所、また、その位置図が公表されています。今後も、引き続き県において優先順位をつけて、できる限り速やかに基礎調査を行い、順次指定する箇所を特定し、土砂災害警戒区域等の指定に向けた手続を進めることとしています。なお、公表された箇所については、基礎調査の前段階のため、全てが危険を伴う区域であるとは限らないとのことです。

Q 災害種別の無い避難場所が17箇所指定されている理由は

A 種別については、避難所、避難場所とも防災計画資料編「避難所・避難場所一覧」に記載の地震災害、風水害、原子力災害の種別

によって分けていますが、屋外の緊急避難場所については指定していません。

動画はこちら➡



はす めま ひろ し
蓮沼 洋志 議員

児童虐待について

Q 本町の現状と対策は

A こども家庭庁が本年3月に発表した令和5年度中の児童相談所における児童虐待相談対応件数は全国で22万5,509件となり、前年比で6,834件増加し過去最多となりました。本町における令和5年度中に新たに児童虐待と認められた件数は2件で、いずれもネグレク

トでした。町では、従来の母子保健、児童福祉等の各担当課により実施されてきた相談支援業務を統合し、一体的な支援に結びつけるため、令和6年4月にこども家庭センターを設置し、児童虐待をはじめとした相談支援の対応にあたっています。

Q こども家庭センターへの相談件数は

A 国では令和5年12月にこども大綱が閣議決定され、子どもの貧困を解消し、貧困による困難を子どもたちが強いられることがないような社会をつくることが明記され、重要な施策に位置づけられています。町における令和5年度の相談対応件数は18件で、ネグレ

クト2件のほか、不登校や育児などの相談が16件でした。相談の中には経済状況についての相談も含まれています。こども家庭センターの設置により、相談のあった家庭に対し、関係機関とより多くの情報を共有し支援に努めています。

その他の質問

- ・高齢者福祉事業
- ・自殺死亡率について

動画はこちら➡





いし かわ

石河 ルイ 議員

その他の質問

- ・米問題と農業振興
- ・復興の実態について

動画はこちら➡



認定こども園の職場環境改善について

Q 認定こども園に処遇改善の加算金は届いているか

A かわまた認定こども園は民設民営による公私連携の運営方式に分類され、公私連携幼保連携型認定こども園となり、民間に町が関与しながら園を設置する制度です。設置運営主体は川俣町社会福祉協議会であり、町と協定を締結することで公設施設の無償貸付が可能となるなど、町の関与が明確になっています。園では、国、県と町が負担する園児1人あたりにつき支出される施設型給付費を受け

るとともに、園が定める教育、保育理念と目標に従って園を運営することになります。施設型給付費は、毎月、川俣町社会福祉協議会から請求書類を提出していただき、内容を精査のうえ支出しているところであり、加算金については、園が保育環境の充実等に取り組んでいる場合等に基本分単価に上乗せして加算されるもので、施設型給付費に含まれて算出されるものとなっています。

Q 施設の改修等について職員の声は届いているか

A こども園開園後、施設を利用するうえで修繕を要する場所の要望は、社会福祉協議会からいただいております。現地確認を行いながら予算の確保に努めています。令和6

年度は、築山、花壇の改修を行い、令和7年度は水道水栓の交換、ヒーターの点検、改修などを行う予定です。

公私連携幼保連携型認定こども園の実態は

Q 公私連携とは、町はどう考えているのか

A 公私連携については、就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の第34条第1項に、協定に基づき当該市町村から必要な設備の貸付、譲渡、その他の協力を得て、当該市町村との連携の下に教育及び保育を行うと定められており、

協定を締結することで公私連携法人に公共施設の無償貸付け等が可能になる仕組みとなっています。町はこれを基に条例を定め、公私連携法人として川俣町社会福祉協議会を指定し、協定の取り交わしにより公私連携を実施しているところです。

Q 3年目となるがこれまでの関わりと今後の関わりは

A 町は、協定書に基づき施設を整備し無償貸与してきたほか、教育・保育現場の要望に対応してきました。令和6年度は、築山の改修、花壇の改修を行い、令和7年度は水道水栓の交換、ヒーターの点検、修繕などを行う予定です。また、川俣の教育「シルクプラ

ン」推進のため、豊かな体験学習など学びの連続性を重視したつながる教育等の活動に対し補助金を支出し支援してきました。引き続き、公私連携法人との連絡、連携を密にし、園児の健やかな成長と学びを支えるための環境整備に努めます。



たか はし きよ み

高橋 清美 議員

その他の質問

- ・町合併70周年記念事業
- ・大阪・関西万博への参加は

動画はこちら➡





ふじ わら ただし
藤原 正 議員

その他の質問

・川俣シャモまつり

動画はこちら➡



里山ツーリズムの成果と課題は

Q 各地区のこれまでの取組と今後の支援は

A これまで、モニターツアーの造成や告知動画、プロモーション動画の作成、首都圏での情報発信等を行っており、各地区には、モニターツアーの際の受入れなどに協力をいただいています。この事業は、外部に対する風評被害払拭を目的とした情報発信事業ですが、

本町の住民の皆様が改めて地域を理解することが重要と考えます。本事業を活用し、地域資源の洗い出しと磨き上げを行うことで、地域住民の皆様が地域の素晴らしさを理解し、誇りを持つことができるよう、支援していきたいと考えます。

Q 教育、文化、学びとしての町の取組は

A 令和5、6年度において実施したかわまた里山ツーリズムでは、子ども向けのモニターツアーを行い、里山登山や里山保全活動としての竹細工づくり、虫捕り体験や畑での野菜収穫体験といった体験活動に加え、小網木地区の喜楽会の皆様に協力いただいた地域活動、

おりもの展示館での絹の歴史等の学び、川俣シルク工場見学など、教育や文化、学びを狙いとした活動も多く取り入れています。今後も、教育や文化、学びの醸成につながるような本町の地域資源の洗い出しや磨き上げを行っていきたいと考えています。



やま が けい こ
山家 恵子 議員

その他の質問

・町民の交通手段対策支援

動画はこちら➡



ごみの減量化対策について

Q リサイクルの実態及びごみ排出量と処理費用の現状は

A 最新の令和5年度の調査結果では、本町のリサイクル率は7%で、県平均の13.2%を大きく下回っています。ごみの排出量は、令和5年度の一般廃棄物の総排出量が5,153トンで令和4年度から548トン減量しています。処理費

用は、令和5年度決算では、家庭ごみの収集運搬に係る業務委託料が9,644万4,700円、また、伊達地方衛生処理組合への負担金として5,766万7,000円支出しており、ごみ処理に係る費用は合計1億5,411万1,700円となっています。

Q ごみ減量の目標値と目標達成までの課題と対策は

A 毎年、環境省が実施している調査によると、本町の令和5年度の1人1日あたりのごみ排出量は1,255グラムです。第6次川俣町振興計画では、令和10年度のごみ排出量の目標値を1人1日あたり1,000グラムと設定しています。ごみの減量化のために町民の皆様

にいただくかが課題です。今後も、広報誌やホームページによる啓発等の取組を継続しながら、新たな取組を研究、検討し、町民の皆様にごみ減量化に取り組む意識を高めていただけるよう努めます。



ふじ の けい じ
藤野圭史 議員

その他の質問

- ・公共交通の現状と課題
- ・町の財政状況

動画はこちら→



認定こども園運営状況について

Q 問題点や今後必要と思われる改善点はあるか

A 認定こども園経営において、収入の大部分を占める施設型給付費は、園児数によって算定されます。かわまた認定こども園は、園児定員を212名として開園していますが、これまで園児数の最も多い月でも180人台で推移しています。しかしながら、1歳児、2歳児については定員を上回っている状況です。町は、保育ニーズの変化や入園を希望する方の意向に寄り添いながら、待機児童を出さないよう、また、少

しでも入園者を定員に近づけるよう、園と情報交換を密にしながら、丁寧な対応に努めています。園運営において、必要と思われる改善点についても、第一には、運営者である川俣町社会福祉協議会において検討されており、町は、川俣の教育「シルクプラン」に基づき、連携していくこととしているため、園児及び保護者に対する教育と保育の質や機会の安定的な確保等について責任を果たしていく考えです。

Q 今後の運営に関しての政策はどのように考えるか

A 町は本年4月に第三期川俣町子ども・子育て支援事業計画を策定し、今後5年間に必要となるサービス見込み量などを定め認定こ

も園とも共有しています。引き続き、認定こども園と課題や改善点を共有しながら、計画に沿って、着実に子育て支援に取り組んでいきます。

活 動 報 告

議員は議会の他にどんな活動をしているの？
4月～6月の主な活動をお知らせします。

4月

- 1日 人事異動辞令交付式（議長）
川俣美術創設100周年記念セレモニー（議長）
- 4日 かわまた認定こども園入園式
- 7日 川俣小・中学校・山木屋中学校入学式
- 9日 川俣高校入学式（議長）
- 15日 全員協議会
- 18日 広報編集常任委員会
第61回川俣町商工会青年部通常部員総会（議長）
- 23日 大綱木自治会総会（議長）
- 25日 川俣町地区交通安全協会定期総会（議長）

5月

- 3日 第20回川俣シャモまつり
- 8日 川俣町貸事業所整備建設工事地鎮祭
- 9日 第3回臨時会
- 12日 伊達地方衛生処理組合議会臨時会
- 14日 川俣町女性団体連絡協議会総会（議長）
- 15日 全員協議会
- 16日 伊達郡町村議会議長会
- 18日 川俣小学校運動会
- 19日 川俣町文化団体連絡協議会総会（議長）
- 21日 川俣町老人クラブ連合会総会（議長）

- 21日 川俣ロータリークラブ創立45周年記念式典（議長）
- 22日 福島地方水道水供給企業団臨時議会（議長）
川俣町商工会第65回通常総代会
- 25日 第52回川俣ロードレース大会（議長）
- 27日 アサヒ通信(株)新工場見学会
- 29日 川俣町交通安全母の会・婦人防火クラブ総会（議長）
- 30日 シルバー人材センター定期総会
川俣地区防犯協会連合会理事会・定期総会（議長）

6月

- 3日 自治会連絡協議会総会（議長）
- 4日 伊達地方衛生処理組合議会全員協議会・臨時会
- 5日 行政区長協議会総会（副議長）
川俣地区安全運転管理者協会定期総会
安全運転管理川俣地区事業主定期総会
- 8日 第19回絹の里コンサート（議長）
- 14日 令和7年度川俣地区敬老会
- 26日 伊達郡町村議会議長会
- 28日 川俣町青少年の主張大会
- 29日 福島県消防協会川俣支部幹部大会

6月6日～12日は第4回議会定例会開催

議員が町の『いま』を取材してお伝えします！

TOWN まちれぽ REPORT

No. 15

第16回

NPO法人おきがるネットワーク

住 所：福島県伊達郡川俣町山木屋字問屋15-1

代表者：廣野 定義

活動日：月曜日から金曜日

連絡先：事務局 大内周一郎 (090-4555-7236)



どんな
団体ですか？

山木屋地区住民を中心に郷土に思いをめぐらす多くの方々に対して、①家族・地域間ネットワーク、②心と体の健康維持、③地域の振興・人材育成、④学術、文化、芸術、スポーツに関する事業を行い、過疎と高齢化が進むなかにも自ら互いに支え助け合う仲良しで元気でかしこい郷土づくりを目指すと共に、郷土を離れた家族・友達へも心触れあう情報を発信し、心のふるさととしての絆維持にも寄与することを目的としています。



主な
活動内容は？

とんやの郷における食堂委託事業の運営やマルシェ開催、風のコンサート、極寒キャンプや美化活動等を行っています。また、老若男女交流会として年1回ペーニャという催しを開催しています。その他、山木屋公民館共催事業としてグランドゴルフ大会、スポーツW吹き矢大会等を行っています。

今後の
展望は？

今後も、過疎と高齢化が進むなかにも自ら互いに支え助け合う仲良しで元気でかしこい郷土づくりを目指していくため、後継者育成に努めていきたいと思っています。



廣野 清一 副議長

取材した議員からひと言

NPO法人やまきやお気軽ネットワークは原発避難解除後の帰還者の少ない中で何とか賑わいを取り戻そうと地元の有志が集まって立ち上げて作ったグループです。公民館活動などと連携しながらペーニャやイベント開催、風のコンサート活動など、帰還者とまだ帰れない人たちのふれあいの場の提供など大きな役割を果たし

ています。一昨年の「オータムinヤマキヤ」では1000人を超す参加者で賑わいました。

また、「とんやの郷」食堂の運営にも関わっています。山木屋にはなくてはならない団体としてこれからも大きな期待がされています。

これから新たな担い手を見つつけながら頑張っていたきたいと思っています。



voice 町民の声

川俣町のゆくえに 思うこと

柏崎 嶋原 北斗さん

私が川俣町に生まれ半世紀が過ぎました。時代が変わる中、町のあちこちで聞こえた組織の音や町中の賑わいも見られなくなっていると感じています。私が小さい頃は、宿泊施設のホテル、^{はたご}旅籠が多く残っていました。これは仕事などに来町する方が多かったのだと思います。

毎年の出生数から人口動態は予測され、川俣町だけでなく日本全体で人口減少が叫ばれてはいますが、一向に改善する兆し也没有せん。

そのような中、商工会関係者、川俣シャモやアンスリウムなど、町を盛り上げようとしている方々が頑張っていますし、町も川俣町地域おこし協力隊員の方々の様々な活動から、新しい産業や定住促進なども進めています。

川俣町の魅力とは何なのかとよく考えます。「川俣町にはあれがある」「これが出来る」など思い浮かぶものはありますが、都会の便利さには敵いません。しかし、生まれ育った町が大好きです。町民の一人、町の応援団として、今後も住み続けたいと考えています。

◇広報編集常任委員会

委員長 菅野 清一
副委員長 山家 恵子
委員 藤原 圭史
委員 藤野 正一
委員 菅野 道也
委員 高橋 也一

菅野 信一 委員

今、巷では参議院選挙の真最中だが、ある党の訴える「年収の壁」ならぬ、「編集の壁」がある。

では、読者の「認知」「関心」をどうやって獲得すればよいのか・・・。

いくら工夫改善をしても、開いて読んで貰わないことには意味が無い。

9

月議会傍聴のご案内

9月4日(木)～19日(金)は

9月定例会を予定しています。
なお、一般質問は5日と8日です。

みなさんの傍聴をお待ちしています。
議会ホームページから
ライブ中継、録画配信もご覧いただけます。



「伝わる」議会広報誌へ

福島県町村議会議長会広報研修会

7月1日に郡山市ビッグパレットふくしまで行われ、広報編集常任委員が参加しました。読者を意識したレイアウトや編集方法について学びました。今後の議会だよりの作成・編集に生かし、より身近で伝わる広報誌づくりに努めます。



編集後記

広報編集委員会では、読んでもらえない「議会だより」に価値なし。を肝に銘じ、読んで貰える「議会だより」の編集に様々な工夫や改善を加えている。フルカラー化。文字数の縮減。QRコードの貼り付。イラストの挿入やレイアウトの工夫。議会用語の解説等々。

また、先日の研修会では、「議会報は作るのが目的ではなく、誰に、何を伝えて、どうなって欲しいか。」が目的で無くてはならないことを学んだ。

では、読者の「認知」「関心」をどうやって獲得すればよいのか・・・。

いくら工夫改善をしても、開いて読んで貰わないことには意味が無い。

今、巷では参議院選挙の真最中だが、ある党の訴える「年収の壁」ならぬ、「編集の壁」がある。